



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー&プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2303

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.000002811/F/USA/JP
承認日: 2003年10月12日
作成日: 2003年11月27日

1 製品名

コダック フレキシカラー スタビライザー III 補充液

CAT No.196548-2 5 ガロン用
CAT No.873559-9 12.5 ガロン用
CAT No.143210-3 75 ガロン用

2 危険・有害性の分類

原液:

該当成分 : ホルムアルデヒド(50-00-0)、メタノール(67-56-1)、ポリオキシアルキレンモノエーテル(9036-19-5)

危険!

眼にやけどを起こす。
呼吸器、皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。
動物実験で発がんの可能性がある。
蒸気は眼や呼吸器系に炎症をおこす。
皮膚に炎症を起こす。

使用液:

通常使用時には危険性は少ない。

3 物質の特定

原液:

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	80-85	7732-18-5	
ホルムアルデヒド	10	50-00-0	310
メタノール	3	67-56-1	
ポリオキシアルキレン モノ エーテル	1-5	9036-19-5	
Sodium alkyle phenoxy - ether sulfate	1-5	9014-90-8	

使用液:

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	95-100	7732-18-5	
ホルムアルデヒド	< 0.1	50-00-0	310
メタノール	< 0.1	67-56-1	
ポリオキシアルキレン モノ エーテル	< 0.1	9036-19-5	
Sodium alkyle phenoxy - ether sulfate	< 0.1	9014-90-8	

4 応急措置

吸入した場合:

原液 : 空気の新鮮な場所に移動する。呼吸困難の場合には酸素を与える。呼吸が無い場合には人工呼吸を施し、医療手当を受ける。

使用液 : 症状が出た場合には空気の新鮮な場所に移動する。症状が続くようなら医療手当を受ける。

眼に入った場合:

原液 : 直ちに、多量の水で15分以上洗眼した後、医療手当を受ける。

使用液 : 眼に付けるものは良く洗浄する。症状が続くようなら医療手当を受ける。

皮膚に付着した場合:

原液 : 直ちに、汚染された衣服と靴を脱ぎながら、多量の水で15分以上洗い流す。皮膚の炎症やアレルギー反応が出たら、医療手当を受ける。汚染した服は洗ってから使用する。汚染した靴は廃棄するか、十分に洗う。

使用液 : 石鹸と水でよく洗う。症状があらわれたら医療手当を受ける。

誤飲した場合:

原液 : 吐き出さない。コップ1杯の水を飲ませ、直ちに医療手当を受ける。

被災者が意識喪失の場合には、何も口から与えてはならない。直ちに、医師を呼ぶか、中毒110番に問い合わせる。

使用液 : コップ1~2杯の水を飲み、内科医の手当を受ける。被災者が意識喪失の場合には、何も口から与えてはならない。

5 | 火災時の措置

消火手段:

- 原液 : 水噴霧、二酸化炭素(CO₂)、粉末消火剤、発砲消火剤
使用液 : 周辺の火災に対し、適切な消火剤を使用する。

火災時の特別対応手段:

- 原液 : 呼吸用保護具と保護衣を着用する。火災や過度の熱により危険な分解物質を生じることがある。
使用液 : 呼吸用保護具と保護衣を着用する。

有害燃焼物質:

- 原液 : 二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物
使用液 : なし(不燃性)

異常火災/爆発の危険性 : なし

6 | 漏出時の措置

多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。
漏洩箇所を十分拭き取る。

7 | 取扱い・保管上の注意

取扱い:

- 原液 : 許容濃度を超える原液の霧や蒸気を吸い込まない。眼、皮膚、衣服に付着させない。適度な換気を行う。取扱い後は、十分に手などを洗う。
その他、毒劇法の定めるところに従う。

火災や爆発の防止:

- 原液 : 酸化剤から離す。
使用液 : 通常使用では、特に必要なし。

保管 : 密栓して保管する。その他、毒劇法の定めるところに従う。

8 | 暴露防止措置

許容濃度 :**AGGIH (TLV):**

- ホルムアルデヒド : 0.3 ppm (上限)
メタノール : 200 ppm TWA、250 ppm STEL、Skin

OSHA(USA) (PEL) :

ホルムアルデヒド : 0.755 ppm TWA, 2 ppm STEL, OSHA(USA) Action Level: 0.5 ppm

OSHA (USA) (PEL) :

メタノール : 200 ppm TWA、Skin

換気:

原液 : 換気の良い場所で取り扱う(10 air changes/時間)。換気速度は使用状態に合わせる。
 使用場所を排気装置をつけて密閉するか、空中濃度を指定許容限度以下に保つためコントロール装置を使用する。

使用液 : 換気の良い場所で取り扱う(10 air changes/時間)。換気速度は使用状態に合わせる。

呼吸器系の保護:

原液 : 呼吸器系の保護が必要なほど、ホルムアルデヒドが放射する場合には次のような保護呼吸器を着用する。フルフェース型のホルムアルデヒドまたは TypeC ガス対応の NIOSH 規格のカートリッジまたはキャニスターが付いた、OSHA 規格の 29CFR 1910.134 と 29CFR 1910.1048 に適合するものを着用する。

使用液 : 特に必要なし

眼の保護:

原液 : 側板付き安全メガネまたはゴーグル保護メガネを着用する。

使用液 : 眼への付着を最小限にする。側板付き安全メガネまたはゴーグル保護メガネを着用する。

皮膚の保護:

原液 : 0.1%以上のホルムアルデヒド溶液を触る場合は、ホルムアルデヒドを通さない材質(不浸透性)の手袋と保護衣を着用する。(ネオプレンゴム製、ニトリルゴム製)

使用液 : 皮膚への付着を最小限にする。長時間または繰り返し皮膚に付着するような場所で作業する場合は、不浸透性の手袋と保護衣を着用する。

浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(安全シャワー)

9 | 物理・化学特性

	原 液	使 用 液
外 観	液 体	液 体
色	無色	無色
臭 気	弱ホルマリン臭	弱ホルマリン臭
比重(水 = 1)	1.02	1.001
蒸気圧(20)	24 hPa (18 mmHg)	24 hPa (18 mmHg)
蒸気密度(空気 = 1)	0.6	0.6
揮発留分(重量)	80 ~ 85%	95 ~ 100%
沸 点	> 100	> 100
水溶性	完 全	完 全
pH	6.0	9.0
引火点	な し	な し (不燃性液体)

10 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定

不適合物質:

原液 : 強酸化剤、強酸、塩基、金属塩、水酸化物

使用液 : 通常の状態では液が接触する物質や容器の範囲では特になし。

危険分解物質 :

原液 : ホルムアルデヒド

危険重合物質 : 発生しない

11 有害性情報

暴露の影響:

一般 : メタノールを含む。暴露により目に見える障害を起こすことがある。(原液)

吸入:

原液 : ホルムアルデヒドは 1ppm 以下の量でもほとんどの人が気づき、2-5ppm では、眼、鼻、喉に刺激を感じ、5-10ppm で気分が悪くなり、それ以上では我慢できなくなりせき込んで鼻や喉が焼けた感じになる。さらに高濃度では胸が締め付けられ、頭痛、気管支肺炎、不全失語症、水腫、喉頭の痙攣、呼吸困難などを引き起こす。

使用液 : 通常の手扱いは、危険性は少ないと予想される。

眼:

原液 : やけどを起こす。蒸気は眼の炎症を起こす。

使用液 : 通常の手扱いは、危険性は少ないと予想される。

皮膚:

原液 : 炎症を起こす。皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

使用液 : 通常の手扱いは、危険性は少ないと予想される

誤飲:

原液 : 誤飲すると有害。口、食道、胃にやけどを起こす可能性がある。網膜、腎臓に障害を起こす可能性がある。腹部に激しい痛みが起こり、吐き気、下痢、めまいを伴う。意識不明、昏睡状態に陥ることもあり、死亡する可能性がある。

使用液 : 危険性は少ないと予想される。

急性毒性情報: ホルムアルデヒド

LD-50(経口、ラット): 800 mg/kg

LD-50(皮膚) : 270 mg/kg

皮膚刺激性 : 中度の刺激

眼刺激性 : 重度の刺激

吸入 LCLo(ラット) : 250ppm/4hours ホルムアルデヒドガス

12 環境影響情報

この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。

本製品の主要成分のデータに基づいて本製品の環境への影響を評価しますが、実際には試してはいません。

水質系に流出した場合、BODは低く、酸素を破壊する可能性はほとんどない。水中生物への影響は小さい。二次廃棄物処理微生物代謝に影響を及ぼす可能性は低い。自然環境での残存率は低い。生物分解処理はされにくい。多量の水で希釈したうえ二次廃棄物処理を行えば、自然環境に放たれても問題はないであろうと思われる。

本製品の成分から評価された特性を以下に示す。

	原 液	使 用 液
潜在的毒性		
魚類 LC50 (mg/l)	> 100	> 100
ミジンコ EC50 (mg/l)	> 100	> 100
藻類 IC50 (mg/l)	> 100	> 100
有機物急速退化性 (>70%)	なし	なし
生態蓄積性	Log Pow < 1	Log Pow < 1
COD(近似値 g/l)	129	1
BOD5(近似値 g/l)	15	0.1
廃棄物処理による潜在的毒性		
微生物EC50 (mg/l)	> 100	> 100

13 廃棄上の注意

本製品を廃棄する場合は産業廃棄物に該当する。産業廃棄物処分業の免許を持った業者へ産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて依頼する。

廃棄物に該当する法規:

- 廃棄物処理法 : 産業廃棄物(廃アルカリ)
- 水質汚濁防止法 : 生活環境項目
- 下水道法 : 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

国内自動車、鉄道輸送 : 毒劇物法の規定による。

Air Transportation. Not Regulated. 規制なし

- Class : -----
- UN-No. : -----
- Proper Shipping Name : -----
- Subsidiary risk : -----
- Packing group : -----
- Passenger Aircraft : -----
- Cargo Aircraft Only : -----

15 適用法規

該当なし。

化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: ホルムアルデヒド
毒物劇物取締法 (毒劇法)	: ホルムアルデヒド (医薬用外劇物)
労働安全衛生法 (安衛法)	: ホルムアルデヒド、メタノール
消防法危険物分類 (消防法)	: -----

16 その他

危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取扱いには十分注意してください。